

プレスリリース
報道関係者各位

2021年11月17日
つくばウエルネスリサーチ
埼玉県本庄市

筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター

子ども、親、祖父母3世代のスポーツ実施率と健康リテラシーを向上させる 子どもインフルエンサー養成プロジェクト

つくばウエルネスリサーチ（代表取締役社長：久野譜也）、埼玉県本庄市（市長：吉田信解）、筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター（センター長・教授：久野譜也）は、市立旭小学校の児童を対象に、体育授業において有識者とオリンピックが講師となり、スポーツによる健康づくりの実施者を増加させるために、親世代及び祖父母世代にもその重要性を伝えるインフルエンサーになるための「キッズ健幸アンバサダー※1 養成講座」を開催します。

これは、令和3年度 スポーツ庁「Sport in Life 推進プロジェクト（スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験）」に採択され実施するものです。

ぜひ、現地での取材を歓迎いたしますので、ご参集いただければ幸いです。

1. 事業の狙い

- 1) オリンピアの力で、スポーツが好きでない児童にもその楽しさを実感してもらう
- 2) 児童が生涯の健康維持におけるスポーツの重要性を理解して、両親や祖父母に学習した内容を伝え、休日等と一緒にスポーツを楽しむ機会を増加させる
- 3) 親世代及び祖父母世代の健康無関心層へ児童から情報を届けることにより、スポーツ健康リテラシーを向上させ、スポーツ実施率の向上を狙う

2. 期待される成果

- 1) 体育授業の一環として実施
スポーツが苦手な子どもたちにもオリンピックがスポーツの楽しさを伝えることにより、児童のスポーツ開始が期待される
- 2) 児童だけでなく親や祖父母と一緒にスポーツ実施率を向上
行動変容を促す健康情報が届かない無関心層に届き、スポーツ実施のきっかけとなる
- 3) 全国展開に向けノウハウ・教材の開発
他校で教員が活用できるビデオを作成し、本庄市内、埼玉県内、さらにスマートウエルネスシティ首長研究会（全国112自治体）※2 加盟自治体等への展開が期待される
- 4) オリンピアのセカンドキャリア創出
オリンピックの活躍の場を全国で創出することにつながる

3. 本実証事業の概要

- 1) 講座開催時期
11月22日（月） 1回目：AM9:20～11:05 / 2回目：PM1:15～2:55
（1回目と2回目は同様な内容を異なる児童に実施します）
- 2) 対象児童
本庄市立旭小学校の1～3年生（113人）

3) 講座内容

タイトル		講師	内容
市長・校長挨拶		吉田信解 本庄市長 西田真吾 旭小学校長	
講義	健康におけるスポーツの力とキッズ健幸アンバサダーの使命と役割	久野譜也 筑波大教授	スポーツが自分の健康にいかにかプラスになるのか、またスポーツ実施の生涯にわたっての継続が充実した人生につながることを、親や祖父母世代をイメージしながら理解できるようにする。さらに、キッズ健幸アンバサダーは自分の大切な人に心を込めて伝えることが使命と役割であることを実感してもらう。
実技	早く走る秘訣	朝原宣治 NOBY T&F CLUB オリンピック	児童は2班に分かれて、交互に2つの実技をそれぞれ受講する。これらのコマでは、通常の授業や指導では受けられない、トップアスリートの凄さを体感し、憧れを醸成する。また、2人のオリンピックでの体験等も交えて進める。
実技	ボールをうまく操ろう	安藤梢 筑波大助教 オリンピック	
講義	相手の心に火をつける話し方	塚尾晶子 つくばウエルネスリサーチ 取締役 保健師	自分の大切な人がスポーツを開始し、一緒に行うためには、まず自分自身がスポーツを習慣的に行うことが重要であること、また相手が行動を変容させるためには、「相手の心に火をつける」ことがより効果的であることを学ぶ。
認定証・記念品授与			オリンピックの2人の講師から児童はキッズ健幸アンバサダー認定証と参加記念品をもらう。

4. 効果検証

- 1) 児童の講座前後におけるスポーツ実施率と健康リテラシーの変化
- 2) キッズ健幸アンバサダーから親及び祖父母世代への情報伝達状況
- 3) キッズ健幸アンバサダーから情報提供を受けた親や祖父母のスポーツ実施率や健康リテラシーの変化

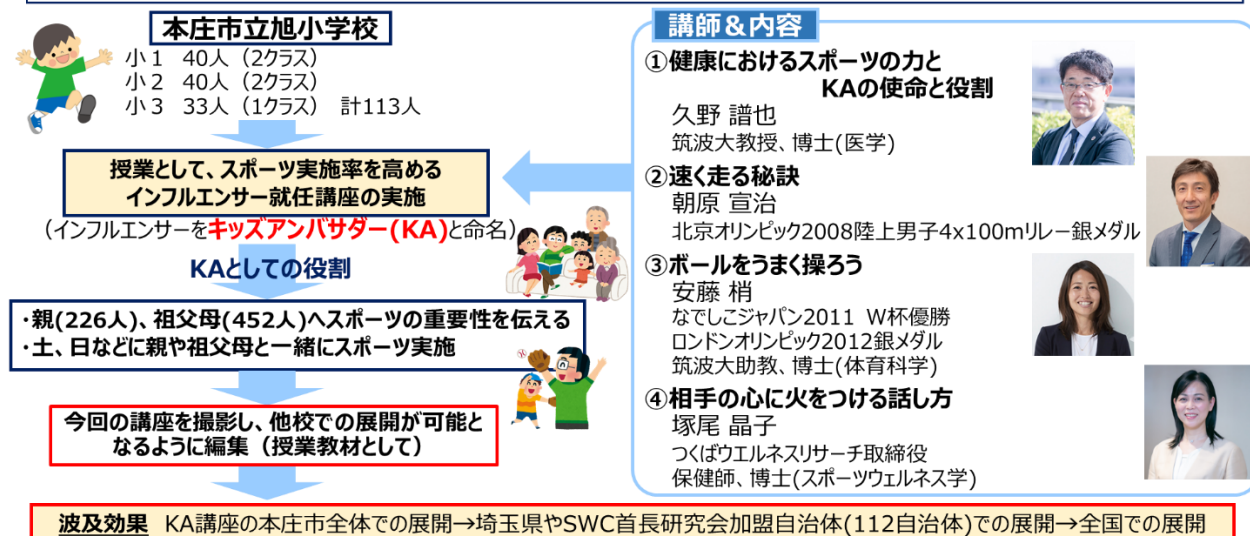
5. 構成メンバーの役割

組織名	役割
つくばウエルネスリサーチ	全体統括、本庄市・教育委員会等との調整、キッズ健幸アンバサダー養成講座のカリキュラム&コンテンツ開発、本実証事業成果の発展形の戦略作り
埼玉県本庄市	キッズ健幸アンバサダー養成講座における小学校との調整及び児童への連絡及び動機付け、本実証事業評価結果における議論への参加とアドバイス、本実証事業の結果を踏まえて本庄市内全域・埼玉県・全国市長会等への事業拡大の働きかけ
筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター	社会実験の評価、本実証事業評価結果における議論の主導、キッズ健幸アンバサダー養成講座におけるコンテンツ開発

【本実証事業 概要図】

児童のインフルエンサー就任による自身および多世代のスポーツ実施率向上プロジェクト

- 背景**
1. 楽しみながらスポーツの力の理解、及び多様な動きを身につけることができる機会を提供できる人材が少ない
 2. 保護者が子供に運動、スポーツを実施させる必要性を感じていない
 3. 土、日にスポーツを実施しない子供たちが一定数存在



※1：健幸アンバサダー：健康寿命延伸と健康格差の縮小を目指し、身近で大切な人に口コミで健康情報を届けるインフルエンサーとしての役割を担う。現在、全国で24,000人以上の健幸アンバサダーが活躍している。

※2：スマートウエルネスシティ首長研究会：43都道府県112区市町村の首長が集い、ウエルネスをまちづくり政策の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、地域住民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す。本実証事業のプロジェクトリーダーである筑波大・久野が本研究会の事務局長を務める。

以上

※講座前に児童の期待を高めるために告知動画を作成しています。下記 URL よりご視聴ください。

<https://youtu.be/gZ5-8ZGd1Nw>



※「キッズ健幸アンバサダー養成講座」終了後にもマスコミ各社への成果に関するリリースを行う予定です。

【取材のお申し込み】

下記までご連絡ください。

株式会社つくばウエルネスリサーチ [担当：名嘉・海老原]

email: info@twr.jp